

## 2013年3月24日 主日礼拝 (受難週・洗礼式)

プレイズ

奏 楽

3つの愛

賛 美 讃美歌312番 (聖歌581番)

(主の栄光宮に)

聖 書 マルコによる福音書 15章16～22節

音 楽 サインダンス

メッセージ「昔も今もアドベンチャー」

大川従道牧師

賛 美 「カルバリー山の十字架」(399・献金)

主の祈り

祝 禱

### 【町田ニュース】

- ・ 昨日の「ほっとパパママ会」が祝されました(参加大人5人、子ども8人)
- ・ **一対一弟子養育**の過程を終了しました。工村ひろ子姉、小浦真輝兄。
- ・ 本日、午後お茶会あり。一対一弟子養育の証しほか。
- ・ 火曜日、**早天祈禱会**で大塚伝道師が説教。お祈りください。
- ・ 祈禱会は水曜7時半と木10時半。説教は坪井副牧師。
- ・ 準備祈禱会は金曜9時。説教は佐々木伝道師。
- ・ 土曜日午後4時～6時、「**リバイバル祈禱会**」です。途中参加も可能。
- ・ 来週は**イースター礼拝**です。午後のお茶会は薬師池公園で「**春のお花見会**」です。ゴスペルマジック、バイオリン演奏、ミニゲーム等あり。知人をお誘いして楽しい時をもちましょ。差し入れもあと助かります。
- ・ 月末なので**国際飢餓対策への募金**。**3月のお誕生会**をします。
- ・ 4月13日(土)2時半、相模メモリアルパークで**召天者記念礼拝**、江尻兄の納骨。18日(木)は「**ほっとママの会**」。28日「**お琴演奏会**」
- ・ 今年も通読表を用い、貪るように聖書を読みましょ。

イエスは言われた、「よく聞いておくがよい。誰でもわたしのために、また福音のために、家、兄弟、姉妹、母、父、子、もしくは畑を捨てた者は、必ずその百倍を受け、すなわち、今この時代では家、兄弟、姉妹、母、子および畑を迫害と共に受け、また、きたるべき世では永遠の生命を受ける。」

(マルコ十の二十九～三十)



## 畑の中の宝物

わが家である時、九官鳥を飼ったことがある。私は英語が話せるようになればと思ひ極力英語で話しかけるようにした。ところが、忙しさに紛れ、なかなか話しかける時間が取れない。そこで仕方なくテープにその代役を任せ、四六時中、「ハロー、ハウ・アー・ユー」と聞かせるようにしたのだが……。

結果は期待に反し、テープでは英語は覚えなかった。そのうち、私の在外研究のため家族が不在がちになると、だんだん人の肉声に触れることも少なくなり、話さなくなった。そのうち寂しさからのストレスのためか、毛が抜け始め、あれよ、あれよと言っている間に死んでしまった！

このように九官鳥でさえ、人との触れ合いを求め、無機質なテープの声に機械的に反応することを拒み、**言葉の奥にある人のこころ**を求めている。

では、毎日の生活で私たちはどうだろう。忙しさのあまり、まるでテープの声に戸惑う九官鳥のようになってはいないだろうか。そうだとすれば、先ず相手のことばをこころで「聴く」ことから始めてみるとどうだろう。

よく子どもは、「大人は話を聞いてくれない」と嘆く。大人は「こんなに聞いているのに」と肩を落とす。なぜだろう。大抵の場合、ことばは聞いているが、その裏にある話し手の心情やつらいこころを聞こうとはしていない。真に「聴く」とは、相手のこころに寄り添い、相手の立場になりきり、同じ思いになることである。

(東後勝明著「ありのままを生きる」より引用)

九官鳥すら、心のやりとりを求めています。なおさら人間は心のやりとりを求めています。ちょっとした対話でも、そこに気遣いや思いやりの心があるとそれだけでうれしくなるものです。いつも親切で、思いやりのある心を持ちたいものです。

今週は受難週。特別な思いを持って過ごしましょう。断食する人も好物を絶つ人もいるでしょう。心を静め、主の心を感じる時を持ちましょ。

大塚 信頼

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょ。

Aコース:ヨシヤ記11章～士師記2章 Bコース:ルカ4章～7章